令和８年度

稲荷小学校

学びの手引











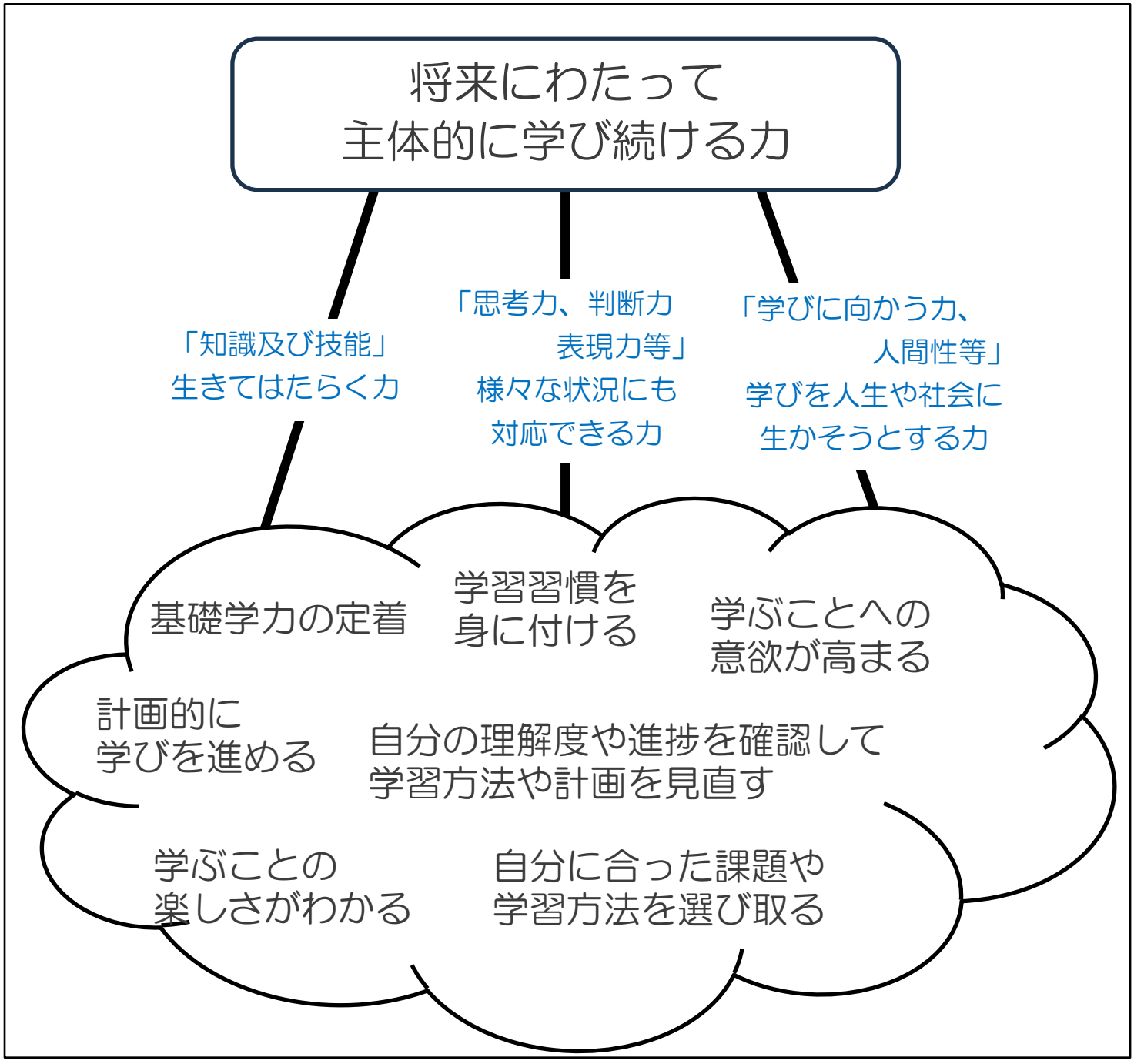

1. はじめに

これからの社会では、自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力がますます重要になっていきます。子どもたちが、将来、自立して学び続けるためには、「自学自習の習慣」を身に付けることが不可欠です。

本校では、教育目標「いきいき　なかよく　りそうの学校を目指して　考動する子」のもと、日々の授業の中で子どもが学びへの意欲を高め、家庭学習につなぐサイクルの確立を目指します。

本手引では、学校での主な学習内容や、自学自習の習慣を身に付けるために、大切なことなどをまとめていますので、ご家庭での支援にお役立てください。

2. 自学自習を通して目指す学びの姿



3. 本校における自学自習についての方針

■宿題や課題などについて

〇漢字ドリル・計算ドリル・音読を基本として、各学年の学習状況に合わせて毎日課題を出します。自分で計画して学習しましょう。

■予習・復習について

〇学習したことを振り返り、必要に応じて復習しましょう。また、予定表を確認し、次の日に学習する内容を教科書で確認する等しましょう。

■家庭学習について

〇宿題や課題、自主学習など各家庭で時間を決めて、取り組むようにしましょう。

＜自学自習で大切にしたいこと💡＞

■自分が興味・関心のある物事について、調べてみましょう。探究的な学びに取り組みましょう。

■自分で学習の計画を立て、主体的に学びを進めましょう。

■スマートフォン・ゲーム等の使用時間に注意しましょう。

■読書を通して、新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方に触れ、豊かな人間性を育てましょう。

＜保護者の皆様へ＞

お子様の自学自習を支えるうえで、以下のようなことも大切にしてください。

■ご家庭で、「今日の授業の中でおもしろかったって思ったことはあった？」「学校の授業で学べたことを教えて？」といった声かけをしていただき、子どもが学んだことを**アウトプットすること**を大切にしてください。

■**学習に集中できる環境づくり**を心がけてください。

4. 学年ごとの目標や学習内容など

小学校1～2年生

学習内容の特色

●「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立しましょう。
●「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
●生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験します。
●GIGA 端末を使いはじめ、絵や文字をかいたり、簡単な入力を行います。

自学自習のポイント!

❶ 最後までやり終える!
「自分で決めたことは最後までやる」ことを守るなど、学習のけじめをつけ、終わったかどうかを家族で確認しましょう。

❷ 家族も一緒に!
ひとりで学習の内容や方法を決めることはまだ難しいので、家族が“一緒に”取り組みましょう。子どもが学習している時は、スマートフォンやテレビ等を切って、静かで集中できる学びの環境を整えること、「読書タイム」をつくることも効果的です。
子どもの話を最後までじっくり聞いて対話をたくさんすることなどを意識し、実践することがとても大切です。

音読のススメ

目で文字を追いながら、声に出してはっきりと読むことは、集中力を高め、語彙力や読解力も自然と身についていく大変よい勉強法です。
できるだけ毎日取り組むのがおすすめです。
特に、朝の音読は、脳を刺激し一日の学習効果を高めるそうです。

小学校3～4年生

学習内容の特色

●「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
●資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
●新しい漢字を、たくさん習います。（3･4年生とも 200 字ずつ）
●算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
●四則計算（＋、－、×、÷）の基礎･基本を、徹底して学びます。
●GIGA 端末で文字入力や写真の編集等を行います。

自学自習のポイント!

❶ 自分が関心のある物事を調べたり、考えてみましょう!

予習や復習だけでなく、自分が関心のあることを調べたり考えてみるなど、自主的な学習にも積極的に取り組みましょう。身のまわりの自然や社会の出来事にも関心が持てるように働きかけましょう。（京都市青少年科学センター、博物館、美術館に出かける等）

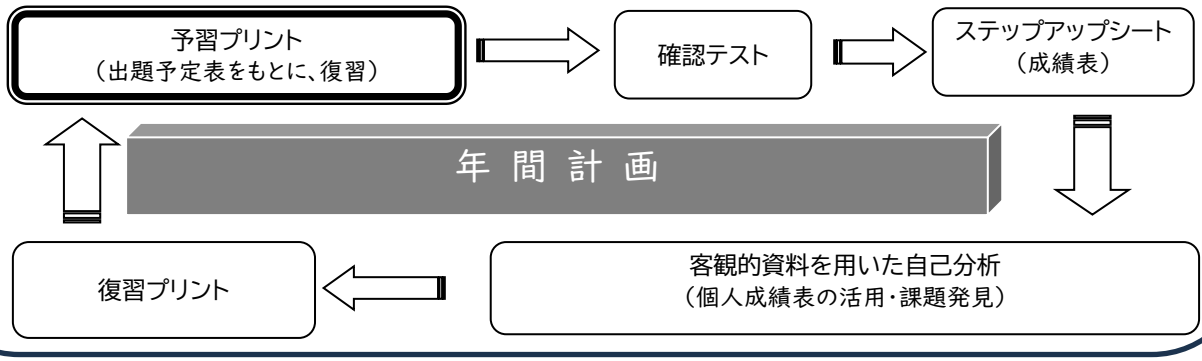
❷ ほかの子どもと比べず、「がんばり」をほめる!

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟･姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、積極的にほめましょう。

＜「ジョイントプログラム」＞苦手を発見･克服

●小学校4年生から、「ジョイントプログラム（京都市小中一貫学習支援プログラム」」が始まります。出題予定表をもとに、学習計画を立て、復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し復習しましょう。

≪実施サイクル≫



小学校5~6年生

学習内容の特色

●筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えます。
●自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）をさらに深めていきます。
●自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
●学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
●授業支援ソフト等である程度の速さで文字入力したり、自分でファイルを使って共同作業をしたり、オンラインによるコミュニケーション活動に参加したりするようになります。

自学自習のポイント!

❶ 予定を立て、計画的な学習を!

1週間の予定表を見て、家庭学習の計画を立てましょう。予習・復習を大切にし、1日の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。必ず学習する時間帯の設定をしましょう。

❷「急がば回れ」の気持ちで!

問題に取り組んでいて分からないことがあれば、放っておかず、先生に相談しましょう。

＜春休み＞

●「早寝早起き、夜更かしをしない」等、中学校での生活に向けて、今一度、生活習慣を見直しましょう。
●ジョイプロ5回目（中学で実施）に向けて、「復習プリント」を活用して、小学校6年間の学びを総復習しましょう。

～中学校に向けて～

中学校では、各教科でより専門的な内容を学んでいきます。内容が難しくなり、量が増えていきます。自身で計画を立て、学習方法や内容を工夫し、どのように学習に取り組んでいくか自分で考え、実行できるように、準備をしましょう！